

## 平成27年9月定例会 提出議案の名称と概要

### ●平成26年度決算関係

- 議案第75号 平成26年度北栄町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第76号 平成26年度北栄町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第77号 平成26年度北栄町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第78号 平成26年度北栄町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第79号 平成26年度北栄町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第80号 平成26年度北栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第81号 平成26年度北栄町風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第82号 平成26年度北栄町栄財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第83号 平成26年度北栄町合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第84号 平成26年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第85号 平成26年度北栄町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第86号 平成26年度北栄町水道事業会計決算の認定について
- 議案第87号 平成26年度北栄町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 報告第7号 平成26年度決算に基づく健全化判断比率について
- 報告第8号 平成26年度決算に基づく資金不足比率について

※ 議案第75号～第87号及び報告第7号、第8号は「資料1」による。

### ●平成27年度予算関係

- 議案第94号 平成27年度北栄町一般会計補正予算（第4号）
- 議案第95号 平成27年度北栄町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第96号 平成27年度北栄町大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第1号）
- 議案第97号 平成27年度北栄町水道事業会計補正予算（第2号）

※ 議案第94号～第97号は「資料2」による。

### ●条例制定関係

#### 議案第88号 北栄町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

番号法（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律）の施行に伴い、個人情報保護制度の必要な整備を行うとともに、より適正な個人情報の取扱いを確保するため、条例の改正を行うもの。

（施行日：平成27年10月5日他）

#### 議案第89号 北栄町税条例の一部を改正する条例の制定について

番号法の施行に伴う個人番号・法人番号に係る規定の整備を行うもの。

（施行日：平成28年1月1日）

**議案第90号 北栄町手数料条例の一部を改正する条例の制定について**

番号法に規定する通知カード及び個人番号カードの再交付に伴う手数料について規定するため、所要の改正を行うもの。(施行日：平成27年10月5日他)

**議案第91号 北栄町特別医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について**

特別医療費助成事業の小児について、現行の15歳を18歳になる年度の3月31日までに拡大するもの。あわせて国民健康保険の学生に関する住所地特例を受けている者については、特別医療についても北栄町の受給者とするを明記する等、所要の改正を行うもの。(施行日：公布の日他)

●その他関係

**議案第92号 北栄町まちづくりビジョンの変更について**

平成23年1月に策定した北栄町まちづくりビジョンについて、地方創生の取り組みをまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合を図るとともに、社会情勢の変化など外部環境要因による新たな政策課題への対応について、追加、修正するもの。

**議案第93号 工事請負変更契約の締結について(大栄体育館耐震補強工事(建築主体))**

契約金額 (変更前) 80,460,000円  
(変更後) 85,752,000円 (5,292,000円増額)  
主な変更 ・南面外壁胴縁補強による増 ほか

●諮問関係

**諮問第2号 人権擁護委員の候補者推薦に係る意見を求めることについて**

○任期満了の日：平成27年12月31日

○意見を求める者(任期 平成28年1月1日～平成30年12月31日(3年間))

住 所 鳥取県東伯郡北栄町  
氏 名 あぜたとしこ 畔田敏子(再任)

## 平成 26 年度 決算 の 概要

## 1 一般会計

(決算額)

歳入総額	81 億 2,499 万 2,056 円
歳出総額	78 億 7,149 万 6,309 円
歳入歳出差引額	2 億 5,349 万 5,747 円

(歳入・歳出の主なもの)

(歳入)		(歳出)	
地方交付税	37 億 4,865 万円	民生費	23 億 1,816 万円
町税	13 億 5,053 万円	総務費	14 億 8,342 万円
町債	5 億 10 万円	公債費	9 億 7,715 万円
国庫支出金	7 億 5,102 万円	土木費	8 億 8,260 万円
県支出金	5 億 6,022 万円	衛生費	6 億 6,028 万円
繰越金	4 億 4,573 万円	教育費	6 億 2,958 万円

※単位未満切捨て

(健全化判断比率)

実質赤字比率	— % (普通会計による比率。3.66%の黒字)
連結実質赤字比率	— % (全会計による比率。6.34%の黒字)
実質公債費比率	14.8 % (H24～H26の3年平均)
将来負担比率	103.1 %

(企業会計の資金不足比率)

北栄町水道事業特別会計	— %
北栄町下水道事業特別会計	3.0 %
北栄町農業集落排水事業特別会計	— %
北栄町合併処理浄化槽事業特別会計	— %
北栄町風力発電事業特別会計	— %
北栄町大栄歴史文化学習館特別会計	— %

## 2 国民健康保険事業特別会計

歳入総額	19 億 604 万 5,153 円
歳出総額	19 億 410 万 850 円
歳入歳出差引額	194 万 4,303 円

## 3 介護保険事業特別会計

歳入総額	16 億 7,029 万 876 円
歳出総額	16 億 3,117 万 3,090 円
歳入歳出差引額	3,911 万 7,786 円

## 4 住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入総額	701 万 2,462 円
歳出総額	3,891 万 8,856 円
歳入歳出差引額	△ 3,190 万 6,394 円

5	下水道事業特別会計			
	歳入総額	12億	376万	1,563円
	歳出総額	12億	6万	3,297円
	歳入歳出差引額		369万	8,266円
6	農業集落排水事業特別会計			
	歳入総額		1,737万	2,592円
	歳出総額		1,737万	2,592円
	歳入歳出差引額			0円
7	風力発電事業特別会計			
	歳入総額	5億	7,129万	2,280円
	歳出総額	4億	7,743万	4,796円
	歳入歳出差引額		9,385万	7,484円
8	栄財産区特別会計			
	歳入総額		97万	8,877円
	歳出総額		69万	7,203円
	歳入歳出差引額		28万	1,674円
9	合併処理浄化槽事業特別会計			
	歳入総額		636万	5,624円
	歳出総額		636万	5,624円
	歳入歳出差引額			0円
10	大栄歴史文化学習館特別会計			
	歳入総額		5,604万	8,473円
	歳出総額		5,246万	3,111円
	歳入歳出差引額		358万	5,362円
11	後期高齢者医療事業特別会計			
	歳入総額	1億	4,549万	3,855円
	歳出総額	1億	4,513万	5,359円
	歳入歳出差引額		35万	8,496円
12	水道事業会計			
	(収益的収支)			
	収入合計	2億	8,033万	1,641円
	支出合計	2億	1,623万	7,422円
	差引		6,409万	4,219円
	(資本的収支)			
	収入合計		7,928万	4,800円
	支出合計	2億	1,667万	2,518円
	差引	△1億	3,738万	7,718円

## 1. 健全化判断比率の状況

(単位:%)

市区町村名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 (前年度)	将来負担比率 (前年度)	資金不足比率(下水道 事業特別会計) (前年度)
北栄町	該当なし	該当なし	14.8 (16.4)	103.1 (126.7)	3.0 (2.1)

(単位:%)

早期健全化基準	14.79	19.79	25.0	350.0	20.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0		

## ◎用語の説明

- 早期健全化基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政健全化計画を定め自主的な改善努力により健全化を計ります。
- 財政再生基準…この基準をいずれかの比率が超えると、財政再生計画を定め国の関与により再生を計ります。
- 標準財政規模…地方自治体の一般財源の標準的な大きさを示します。「標準税収入額」+「普通交付税」+「臨時財政対策債」

## 2. 要因と今後の見通し

### 実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模と比較することにより財政の硬直化を示します。これらの経費は削減したり、先送りすることの出来ない最も義務的な経費なので、この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し赤字団体になる可能性が高まります。

- 減少の要因
- ・一般会計公債費、債務負担行為に係る支出の減少
- ・基準財政需要額に算入された公債費の増加

○今後の見通し  
平成22年度をピークに元利償還金が減少していることから、実質公債費比率も減少していますが、比率増加の要因となる下水道事業債への繰出が今後も高止まりする見込みであるほか、普通交付税の減額も見込まれていきますので、今後も新たな借金をな

### 将来負担比率

地方債の現在高等、将来負担すべき債務を標準財政規模と比較することにより、将来負担の程度を示します。この比率が高い場合は、一般財源の規模に比べて将来負担額が大きいうことになり、今後実質公債費比率が増大することによって、財政運営上問題が生じる可能性が高くなります。

- 減少の要因
- ・一般会計、下水道事業特別会計起債残高の減少
- ・充当可能財源の増加

○今後の見通し  
将来負担の主な要素である一般会計及び下水道事業特別会計の起債残高が今後減少していく予定ですので、それに伴い将来負担比率も減少していく見込みです。

### 資金不足比率（下水道事業特別会計）

一般会計等の実質赤字にあたるものであり、公営企業における資金不足の状況を示します。この比率が高くなるほど事業規模に比して累積された資金不足が発生しており、経営状況に問題があることになります。資金不足のうち、将来の料金収入等で解消することが予定されている部分は、資金不足額から差し引いて計算されます。

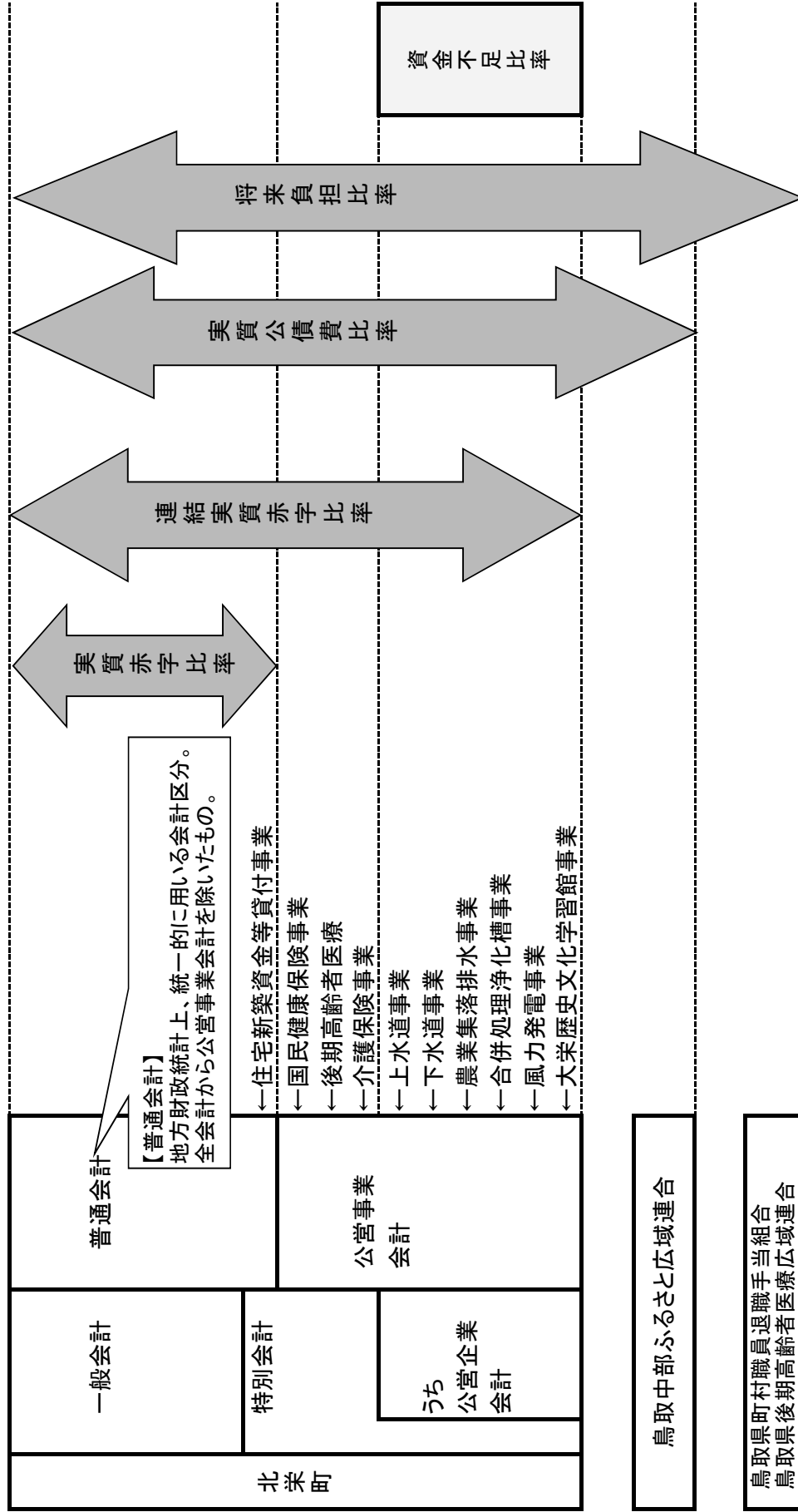
- 北栄町の状況

特別会計の実質収支が赤字になっており、資金不足比率が算出されています。  
平成26年度資金不足比率の算定方法が一部改正され、繰延収益は資金可能不足解消額とみなされないこととなったため、資金可能解消可能額が減少し、比率は0.9%増加しています。

- 今後の見通し

平成24年度で事業は完了しましたが、起債の償還は今後も続くため、引き続き資金不足の状態が続く見込みです。一方、起債残高の減少により資金不足解消可能額は増加すると見込まれ、比率を引き下げる要因となる見込みです。

◎健全化判断比率の対象について



## 平成 27 年 9 月定例議会補正予算（案）概要

## ■ 9 月定例議会提出補正予算

## 1 一般会計補正予算（第 4 号）

現計予算額 8,108,251 千円 補正額 343,526 千円 補正後の額 8,451,777 千円

## (主な歳入)

普通交付税	201,463 千円
国庫支出金・県支出金	30,991 千円
財政調整基金繰入金	△99,567 千円
前年度繰越金	208,059 千円

## (主な歳出)

財政調整基金積立金	243,226 千円
庁舎統合整備事業	8,433 千円
生活困窮者自立支援事業	12,000 千円
由良こども園管理運営事業	5,530 千円
企業等農業参入促進支援事業	4,807 千円
園芸産地活力増進事業	20,400 千円
畜産振興事業	7,000 千円
観光振興事業	6,519 千円
道路維持管理事業	6,200 千円

## (財政調整基金の状況)

当初予算時残高	1,482,933 千円
3号補正後残高	1,410,432 千円
4号取崩額(△)	△ 99,567 千円
4号積立額	243,226 千円
現在高	1,753,225 千円

## 2 介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号）

現計予算額 1,601,983 千円 補正額 40,553 千円 補正後の額 1,642,536 千円  
 (補正の内容) 繰越金の計上、国庫支出金等返還金の増

## 3 大栄歴史文化学習館特別会計補正予算（第 1 号）

現計予算額 52,987 千円 補正額 2,184 千円 補正後の額 55,171 千円  
 (補正の内容) 修繕費、工事請負費の増

## 4 水道事業会計補正予算（第 2 号）

収益的支出 現計予算額 255,383 千円 補正額 3,532 千円 補正後の額 258,915 千円  
 (補正の内容) 工事請負費の増